

「仙龍」が全焼、追悼の言葉を！

● 3月16日未明の出来事に！

昨朝、同期の八木さん、山関さん、野口(武)さんから「今朝未明、仙龍が火事にあった！」とのメールが飛び込んできました。昼にはテレビでも取り上げられ、昨日と今朝の新聞等でも報道されました。◇ ◇

■住宅火災で高齢者2人死亡 さいたま、同居の姉弟が【東京新聞、2020年3月16日 11時49分】

16日午前3時半ごろ、さいたま市浦和区領家、伊藤みや子さん(88)宅で「爆発音があり、炎が上がっている」と近隣住民から110番があった。住宅と隣接する中華料理店「仙龍」が全焼し、住宅の焼け跡から2人の遺体が見つかった。同店で働く伊藤さんと弟とみられる同居男性(73)と連絡が取れていない。浦和署によると、伊藤さんは2人暮らし。現場は県立浦和高の近く。同高の卒業生によると、長年、生徒から人気だった。卒業生は、文化祭や体育祭の後に同級生らと通っていたといい、「(みや子さんは)毎年卒業式にメッセージをくれ、気さくで優しかった」と話した。(共同)[写真:全焼した店舗兼住宅=16日午前、さいたま市浦和区]



◇ ◇ 昨年9月に麗和会館で開催した「15歳で出会って50年目の同期会」では、お祝いを持って登場してくれた心優しい“仙龍のおばちゃん”[写真右]。そんな“おばちゃん”に同期から、ひと言ずつではありますが、追悼の言葉を贈らせていただこうと思います。



◇ ◇ ■大ショックです。先週、ふと「久しぶりに仙龍のラーメンが食べたいな」と思ったのですが、結局行けず「近いうちにまた行けばいいや」と思っていた矢先の出来事でした。もう、おばちゃんの顔が見れないなんて！「謹んでご冥福をお祈りします」というべきなのでしょうが、大ショックで今だに信じられません。涙、涙です。【山本勝郎】

■昨年の宴会を行った場所で、おばちゃんの印象も残っていて、大変残念です。【加藤泰則】

■おばちゃんが亡くなられたとのこと、弟様も含め大変残念ですね。写真も悲しいですね。昨年9月は、スピーチ、金一封、二次会と大変御世話になり、感謝に耐えられません。貴重な思い出となりました。50年の縁とはいえ、未だ、半ばという感覚です。バレー部も合宿時には大変御世話になりました。体調の良くなかった日の練習前に尊敬する先輩から「仙龍の餃子とラーメンで風邪を吹き飛ばして来い」とアドバイスされたことも思い起こされます。合掌【藤江昌嗣】

■朝一番の仲間からの連絡に驚きました。また、その後、おばちゃんが犠牲になったと伺い、残念です。浦高陸上部時代は合宿での朝昼晩の食事ではお世話になり、ありがとうございます。安い予算にも対応いただき、しんどい合宿を乗り越えられたのも仙龍の美味しい、かつボリュームある食事のおかげです。また、昨年9/28の25期同窓会にはわざわざ、会場にまでお越しいいただき、ご挨拶もしていただきました。二次会ではラグビーW杯の対スコットランド戦を観戦しながら、大いに盛り上がったことが昨日のようです。どうぞ、安らかにと申しても、おばちゃんのことだから、天国でも明るい大きな声でみんなのアイドルになることでしょう。本当にお世話になり、ありがとうございます。合掌【野口武】

■軟式テニス部のみんなとよく食べに行きました。おばちゃんの笑顔が印象に残っています。当時から50年も経ち、浦和から遠い所に住みましたが、浦高時代の懐かしい思い出の場所です。火災で亡くなられたと知り、無念です。ショックです。どうぞ天国でゆっくりなさってください。ありがとうございます。【荒井正剛】

■仙龍のおばちゃんは同期会の2次会でお会いしたのが最後ですね。仙龍では文化祭の打上等でビールを飲んだのも良い思い出です。浦高生の聖地が一つ無くなったのも悲しいですね。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたします。【高崎雅】

■仙龍全焼しておばちゃんがお亡くなりになったとのこと。驚きました。最近の報道などを読ませていただき久しぶりに店を覗いてみようかな…などと思っていたところでした。仙龍は幸樂と共に昼休みにたまり場にしていたのですが、何よりの思い出は剣道部の夏合宿の昼食をお願いしたことです。浦校合宿場を利用した夏合宿は大変過酷で、暑さと疲労で食欲もなくなってしまいう中、それまでのんでいた仕出し屋は冷え切ったおかずと臭った飯を出すような有様でありまったく食べる気にならず、仕方なく別途自分たちで買ってきた豆腐でしのいだという有様でした。このままでは部員の士気と健康を脅かすことが危惧された為、悩んだ挙げ句、高校2年の夏合宿から無理を承知で仙龍のおばちゃんに昼食をお願いしたところ快く引き受けていただきました。出来立ての美味しい食事に部員の食欲も旺盛で無事合宿を乗り越えることができたのでした。改めてご冥福をお祈りしたいと思います。合掌。当時、プレーイングマネージャーだった黒崎より【黒崎秀】

■「仙龍のおばちゃんに捧ぐ」仙龍が火災という悲報で、まさかとは思いましたがなんでおばちゃんまでという思いです。僕らが仙龍に初めて行ったのは、まだ古いお店の頃でした。友達と一緒に自分の弁当を持っていくと、「はいよ！」と言ってラーメンスープを無料でいただいたりしました。ラグビー部の合宿の時には、朝・昼・晩と大食漢の高校生相手に、「腹いっぱい食べていきな！」といつも自分の子のように優しく声をかけてくれました。卒業してからは、「よっ！先輩元気か！」と威勢の良い声を聴きたくて足を運んだものでした。おそらく一番浦高生を愛し、浦高生を陰で支えてくれた一人であると感じています。そんな「おばちゃん」にもう会えないとなると寂しい思いでいっぱいです。今はただ「おばちゃん」のご冥福を祈りたいと思います。合掌【ラグビー部 吉田行男】

■驚きました。大変残念です。長い間ありがとうございました。お疲れ様です。ゆっくりお休みください。【井口巖】

■おばちゃんのご冥福を心よりお祈りいたします。【高柳昌之】



〔仙龍での2次会と同期会の集合写真〕 合掌！